

2018年12月14日

こそだて家族研究所

いまだきママの新常識調査 結果発表 <第2弾>

これからはイベント繁忙期！思い出づくりに励むいまだき家族

～クリスマス、お正月や節分、ハーフバースデーや1歳一升餅などのイベントを、みんなで楽しみ、共有する～

博報堂こそだて家族研究所は、現代の子育てママの意識や実態を探るべく、20代から40代の小学生までのお子さんがあるママに調査を行いました。男女共同参画社会の推進で、家事に育児に仕事にと日々忙しいママが急増する中、時間的余裕はななくとも、家族で季節のイベントを楽しみ、子どもの成長を祝うイベントを行うママが増加しています。子どもとの時間を楽しみ、家族の思い出をつくる、いまだきママの実態がみえてきました。

<要点まとめ>

■ 秋から冬は、家族みんなで楽しむ季節イベントシーズン！小学校低学年ママが牽引

- ・「ハロウィン」実施率は5割以上。「クリスマス」「お正月」「節分」「バレンタインデー」と、秋から冬にかけて、8～9割と実施率の高いイベントが続く。
- ・日本の伝統行事では、「大晦日」や「お盆」よりも「節分」の実施率が高い。「春の七草」「鏡開き」も2～3割と、根強い実施率。
- ・季節のイベントは、子どもが大きくなるほど実施率が高く、特に小学校低学年ママで最も高くなるイベントが多い。

■ イベントは“家族の思い出づくり”。子どもが喜び、家族みんなで楽しめることがイベントの醍醐味

- ・季節イベントを行う理由は、「家族の思い出になるから」「子供を喜ばせたくて」が8割を超えて高い。
- ・次いで「自分が楽しみたい」が5割を超え、「両親・親戚を喜ばせたくて」も約5割と、家族みんなで楽しめることがイベントの醍醐味。
- ・季節のイベントを多く実施している小学校低学年ママは、「子供を喜ばせたくて」という理由が85%と最も高く、他層と比較しても特徴的。

■ イベントを行うポテンシャルが高いのは、小学校低学年ママ

- ・小学校低学年ママは、時間的余裕がある率が40%と最も高いが、充実度は60%以下と最も低い。
- ・ママが充実を感じる時で多く挙がるのは、「子供と接する時」「子供の成長を見て」「楽しく過ごしている時」「家族の時間が取れる時」など。
- ・「子供の行事などをクリアしていくと充実を感じる」「子供の成長を見られる」「自分も楽しめる」など、行事はママ自身の充実度をあげる要素が満載。

■ 子どもの成長イベントを行うママが多数。生後6ヶ月を祝う「ハーフバースデー」はメジャーイベントに

- ・子どもの成長を祝う行事として、実施率が50%を超えるのは、「戌の日」「お宮参り」「お食い初め」「一歳一升餅」といった日本の伝統行事。
- ・「戌の日」「お宮参り」「お食い初め」「ハーフバースデー(生後6ヵ月祝い)」「1歳一升餅」ともに、最近のママほど実施率が高い。
- ・「ハーフバースデー(生後6ヵ月祝い)」は、乳幼児ママでは56%と半数以上が実施。小学生高学年ママの16%と比較すると40%の差。

■ 子どもの成長や思い出を積極的にシェアするいまだきママ

- ・子どもの成長や行動をこまめに共有したいママは約9割。特に小さい子のママほどその傾向が高い。
- ・子どもの成長する姿や家族の思い出をSNSやブログに残したいママは、全体の約半数。TopBoxで見ると、小さい子のママほどその傾向が高い。

■ 子どもの成長や思い出は、夫や両親に「メッセージアプリ」でシェア

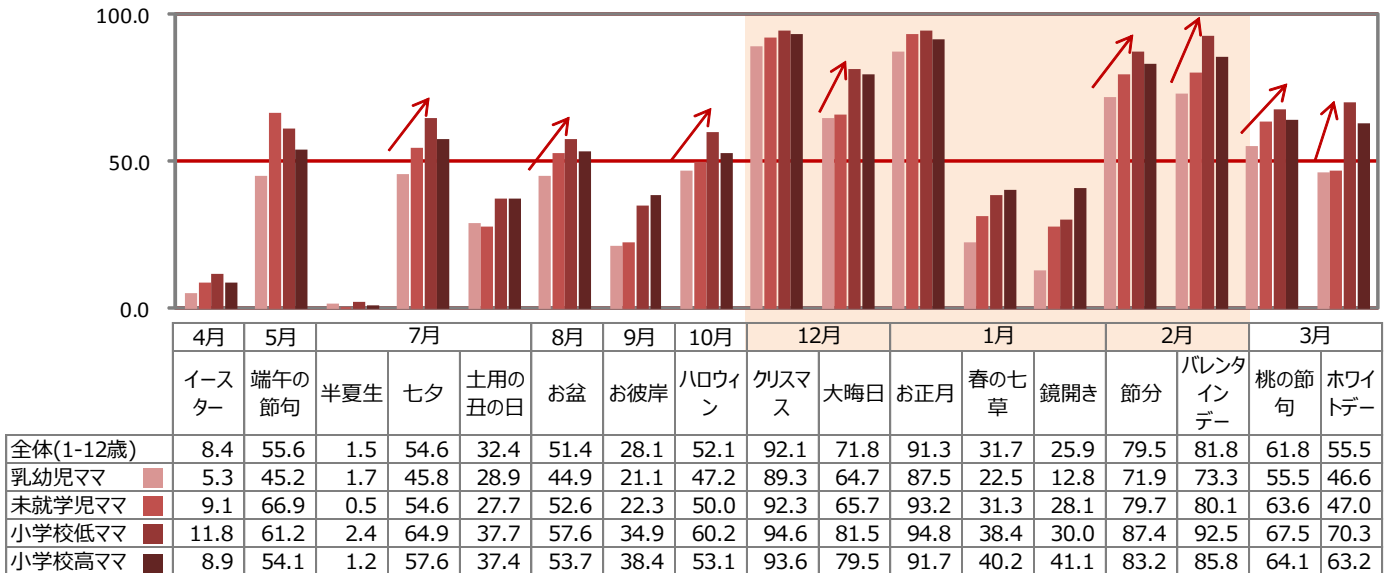
- ・共有相手は、「夫」「自分の両親」「義理の両親」の順。子どもが小さいママほど家族と共有する率が高い。
- ・共有手法は、写真や動画は「メッセージアプリ」を活用している率が高く、乳幼児ママは5割を超えるなど、子どもが小さいママほど活用率が高い。
- ・子どもや家族の近況やニュースは、「口頭」で伝える率が最も高いものの、乳幼児ママの「メッセージアプリ」利用率は4割を超える。

<調査結果>

秋から冬は、家族みんなで楽しむ季節イベントシーズン！小学校低学年ママが牽引

- ・「ハロウィン」実施率は5割以上。「クリスマス」「お正月」「節分」「バレンタインデー」と、秋から冬にかけて、8~9割と実施率の高いイベントが続く。
- ・日本の伝統行事では、「大晦日」や「お盆」よりも「節分」の実施率が高い。「春の七草」「鏡開き」も2~3割と、根強い実施率。
- ・季節のイベントは、子どもが大きくなるほど実施率が高く、特に小学校低学年ママで最も高くなるイベントが多い。

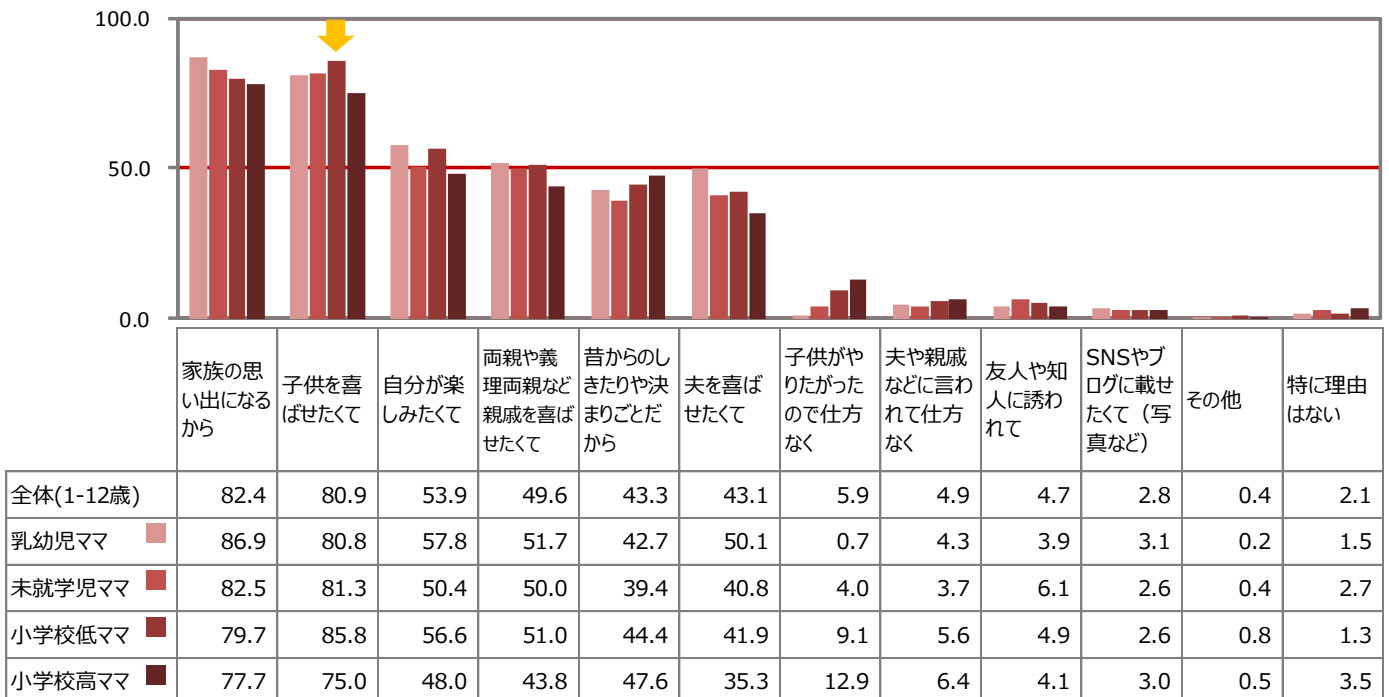
Q.年間行事イベントについてお伺いします。やったことのあるものをそれぞれすべてお選びください。（子供が生まれてから、子供や家族と行う率）



イベントは“家族の思い出づくり”。子どもが喜び、家族みんなで楽しめることがイベントの醍醐味

- ・季節イベントを行う理由は、「家族の思い出になるから」「子供を喜ばせたくて」が8割を超えて高い。
- ・次いで「自分が楽しみたいくて」が5割を超え、「両親・親戚を喜ばせたくて」も約5割と、家族みんなで楽しめることがイベントの醍醐味。
- ・季節のイベントを多く実施している小学校低学年ママは、「子供を喜ばせたくて」という理由が85%と最も高く、他層と比較しても特徴的。

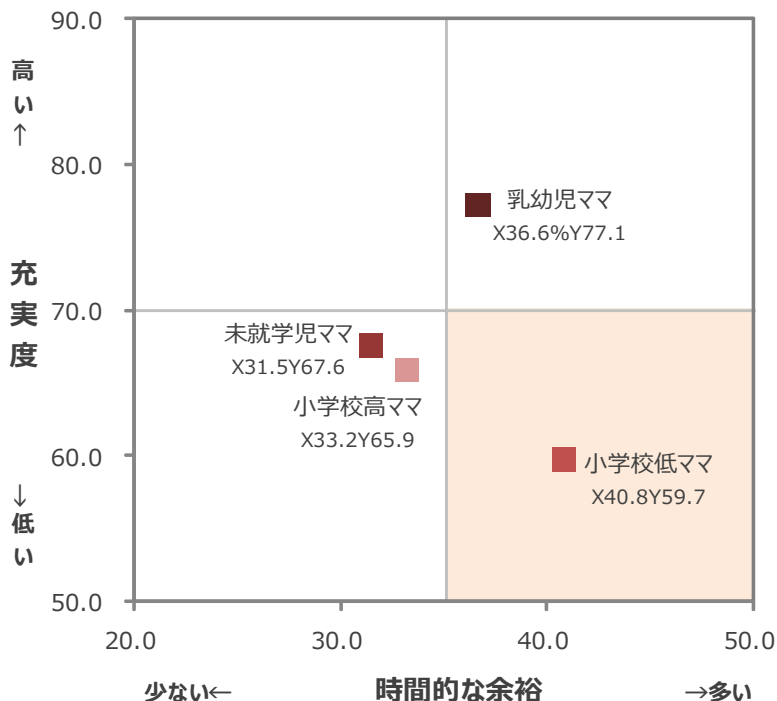
Q.イベントをやった理由や、やりたいと思う理由にあてはまるものをすべてお選びください。



イベントを行うポテンシャルが高いのは、小学校低学年ママ

- ・小学校低学年ママは、時間的余裕がある率が40%と最も高いが、充実度は60%以下と最も低い。
- ・ママが充実を感じる時で多く挙がるのは、「子供と接する時」「子供の成長を見て」「楽しく過ごしている時」「家族の時間が取れる時」など。
- ・「子供の行事などをクリアしていくと充実を感じる」「子供の成長を見られる」「自分も楽しめる」など、行事はママ自身の充実度をあげる要素が満載。

Q. あなたの現在の状況やお気持ちに最もあてはまるものをひとつだけお選びください。



(「時間に余裕があるし、充実している/時間に余裕はないが、充実している/時間に余裕はあるが、充実していない/時間に余裕はないし、充実していない」の4択で聴取し、時間によろうがある/充実しているを分解して数値化)

Q. 「充実している」と回答した方にお伺いします。あなたは、どのような時に「充実している」と感じますか。(OA)

充実を感じる時	
1. 子供と接する時	183 件
2. 子供の成長を見て	108 件
3. 楽しく過ごしている時	96 件
4. 家族の時間が取れる時	89 件
5. 家事育児中	81 件
6. 自分の時間がとれる時	75 件
7. 子供や家族の笑顔を見て	72 件
8. 忙しい時	62 件
9. 仕事をしていて	61 件
10. やりたいことができる時	51 件

<充実を感じる時 OA※>

- 日々忙しく過ごしているが、忙しいなかで**子どもの行事などをクリアしていくと充実する**と感じる(小学校低ママ)
- **子供の成長を間近で見られたり**、子供がいなかったら行くことのなかった場所、意識しない**年中行事などで自分も楽しめる**ので。(未就学児ママ)
- **楽しい行事**に向けて準備しているとき(未就学児ママ)
- 家族での楽しいお出かけや、**子どものイベントでの成長を感じる**とき(小学校低ママ)
- **誕生日、節句、入園など子供の成長が見れた時**。家族みんなで**季節のイベント**ができた時。(乳幼児ママ)
- **家族が揃ってみんなで何かしている**とき(未就学児ママ)

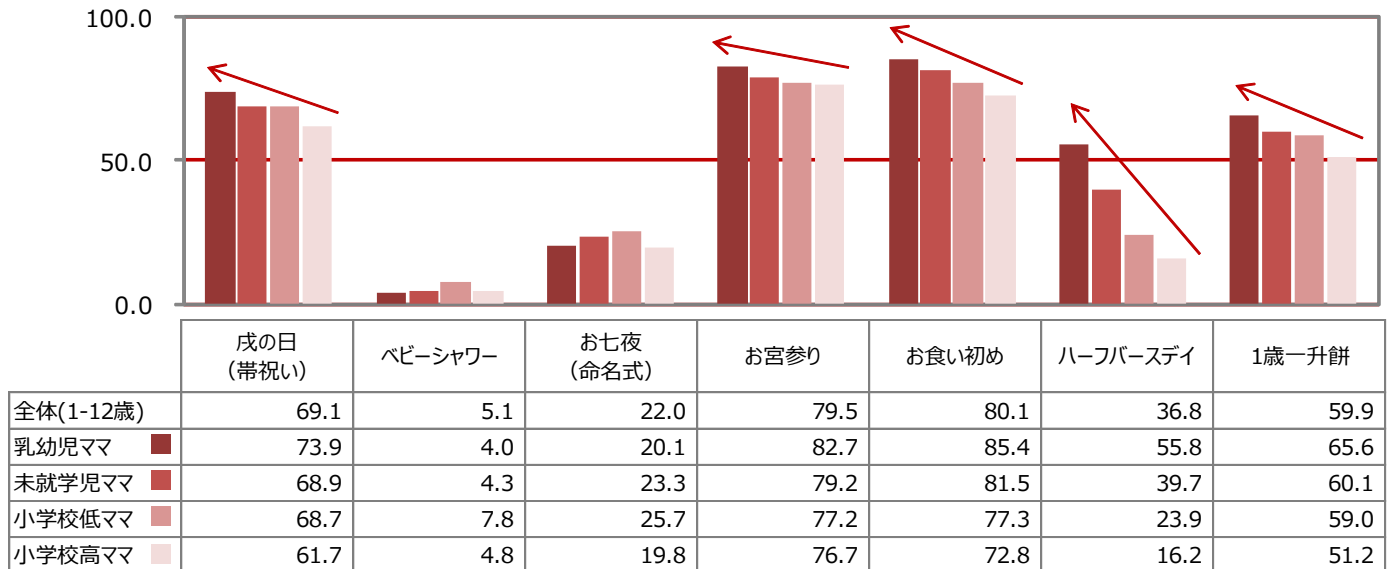
※行事に関わる OA を抽出

(「充実している」と回答した人 n=861 のうち、回答の多かった上位 10 の内容)

子どもの成長イベントを行うママが多数。生後6ヶ月を祝う「ハーフバースデー」はメジャーイベントに

- ・子どもの成長を祝う行事として、実施率が50%を超えるのは、「戌の日」「お宮参り」「お食い初め」「一歳一升餅」といった日本の伝統行事。
- ・「戌の日」「お宮参り」「お食い初め」「ハーフバースデー(生後6か月祝い)」「1歳一升餅」ともに、最近のママほど実施率が高い。
- ・「ハーフバースデー(生後6か月祝い)」は、乳幼児ママでは56%と半数以上が実施。小学生高学年ママの16%と比較すると40%の差。

Q. 子供の成長に合わせたイベントについてお伺いします。やったことのあるものをそれぞれすべてお選びください。(長子について聴取)

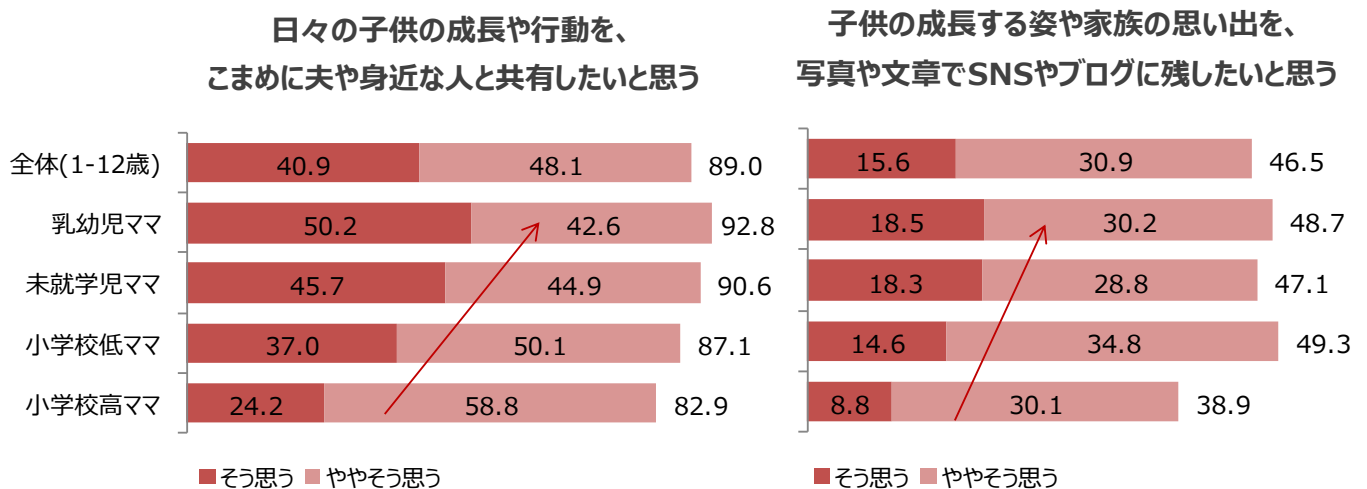


※最近のママ：最近長子が行う行事を行う年齢になったママを指す

子どもの成長や思い出を積極的にシェアするいまだきママ

- ・子どもの成長や行動をこまめに共有したいママは約9割。特に小さい子のママほどその傾向が高い。
- ・子どもの成長する姿や家族の思い出をSNSやブログに残したいママは、全体の約半数。TopBoxで見ると、小さい子のママほどその傾向が高い。

Q. 以下にある事柄について、あなたのお考えに近いものをそれぞれひとつずつお選びください。



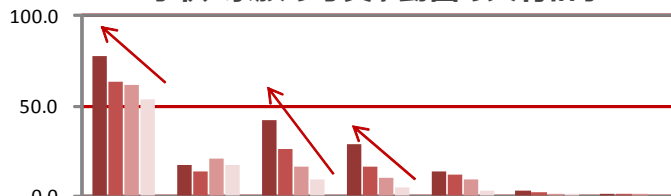
(第一弾リリースとは異なり、第二弾リリースでは、長子1歳以上を全体として集計)

子どもの成長や思い出は、夫や両親に「メッセージアプリ」でシェア

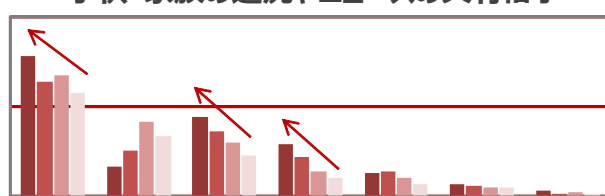
- ・共有相手は、「夫」「自分の両親」「義理の両親」の順。子どもが小さいママほど家族と共有する率が高い。
- ・共有手法は、写真や動画は「メッセージアプリ」を活用している率が高く、乳幼児ママは5割を超えるなど、子どもが小さいママほど活用率が高い。
- ・子どもや家族の近況やニュースは、「口頭」で伝える率が最も高いものの、乳幼児ママの「メッセージアプリ」利用率は4割を超える。

Q.あなたのご家庭では、家族に関する以下のようなことから、どなたが共有していますか。それぞれについて、あてはまるものをすべてお選び下さい。

子供・家族の写真や動画の共有相手



子供・家族の近況やニュースの共有相手

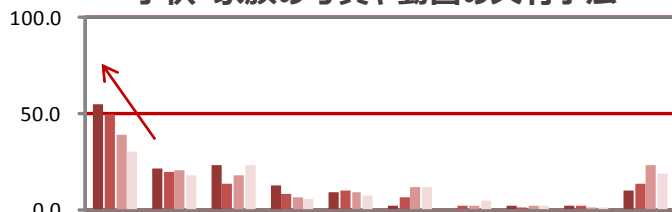


	夫	子供	自分の両親	義理の両親	兄弟姉妹	友人(ママ友含む)	その他
全体(1-12歳)	65.9	17.1	25.8	16.6	9.9	1.7	0.7
乳幼児ママ	77.6	17.3	41.9	28.4	13.2	2.5	1.1
未就学児ママ	63.4	13.6	25.7	16.3	11.9	1.9	0.8
小学校低ママ	61.5	20.6	16.5	9.6	9.4	1.3	0.5
小学校高ママ	53.7	16.8	9.4	5.0	2.5	0.5	0.0

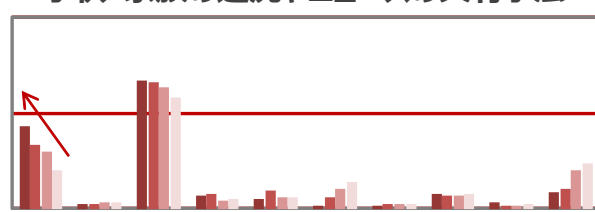
(「自分の両親」「義理の両親」は、父母を分けて聴取しているものを持って集計/「友人」は、ママ友を分けて聴取しているものを持って集計)

Q.ご自身以外の誰かと共有している」とお答えになったことからは、どのような手段で共有していますか。それぞれについて、あてはまるものをすべてお選び下さい。

子供・家族の写真や動画の共有手法



子供・家族の近況やニュースの共有手法



	メッセージアプリ	写真共有サービス	口頭	SNSやブログ	Eメール	手紙や紙類	ホワイトボード・コルクボード	電話やFAX	ビデオ通話	その他
全体(1-12歳)	45.9	20.1	19.8	9.0	8.8	7.0	1.8	1.7	1.5	15.4
乳幼児ママ	54.9	21.0	23.4	12.6	8.8	2.4	0.0	1.5	2.2	10.2
未就学児ママ	49.8	19.9	13.1	8.2	9.8	6.6	2.1	0.9	1.8	13.5
小学校低ママ	38.8	20.1	17.6	6.4	8.8	11.9	2.1	2.2	0.1	23.4
小学校高ママ	29.8	18.0	23.5	5.8	7.3	11.6	4.9	2.2	1.4	19.0

<調査概要>

調査地域：全国／調査時期：2018年3月末／調査対象：20代～40代で0-12歳の子供がいるママ N=1,237名

※結果発表第2弾では、長子1歳以上のママのみで分析 N=1,181名 (乳幼児ママ(長子1-3歳)253名/未就学児ママ(長子4-6歳)317名

小学校低ママ(長子7-9歳)318名/小学校高ママ(長子10-12歳)293名 ※ママ年代・長子年齢の人口構成比でウェイトバック集計

調査手法：インターネット調査／調査設計・分析：博報堂こそだて家族研究所／調査実施：株式会社マクロミル

【博報堂こそだて家族研究所】 <http://www.hakuhodo.co.jp/archives/announcement/24207>

晩産化・少子化、共働き世帯の増加、夫や祖父母の育児参加など、この数年で大きく変わってきた「子供のいる家族」について、研究・提案を行う専門組織。1996年より活動していたB a B Uプロジェクトを発展改組し、2012年10月設立。「妊娠期から小学生の子どもを持つ家族」に関する専門知識を元に、調査、商品開発支援、広告などコミュニケーション支援、メディア開発、事業開発などを手掛ける。